



国土交通省
信濃川河川事務所

記者発表資料

平成 25 年 8 月 19 日

本資料の発表をもって解禁

旧長生橋の基礎杭を掘り起こします ～ 大正時代の土木技術を偲ぶ ～

長岡大花火大会を終えて本格着工した「信濃川右岸信濃地区堤防強靱化事業」ですが、左岸砂州の掘削作業に伴い、工事現場から旧長生橋の基礎杭が出てきました。

旧橋の基礎は現橋の下流にあり、これまでも河床変動で河床から現れたり、埋もれたりを繰り返してきましたが平成23年の出水後はほとんど埋もれた状況でした。

この度、現場に河床掘削の重機を搬入したことから、この基礎杭のうち数本を掘り起こしてみることにしました。

掘り起こした杭については当時の土木技術を知るための資料として研究保存する予定です。

■発掘作業日時

日 時：平成 25 年 8 月 23 日（金）16:00～（洪水時は延期）

場 所：長生橋左岸下流

■長生橋の歴史（新潟県長岡地域振興局 HP より）

http://www.pref.niigata.lg.jp/nagaoka_seibi/1194452153678.html

慶長 10(1605)年：蔵王の渡しが草生津に移される

宝永 5(1708)年～万延元(1860)年：渡船難船 3 回

明治 7(1874)年：広江椿在門橋梁架設願いを県に提出

明治 9(1876)年：1 代目長生橋完成（有料橋）

明治 12(1879)～大正 3(1914)年：橋梁流失 8 回

大正 4(1915)年：2 代目長生橋完成

※今回発掘の橋梁。当時木橋長さ日本一。

昭和 12(1937)年：3 代目長生橋完成

昭和 47(1972)年：歩道橋完成



同時発表記者クラブ

長岡市記者会
長岡地域記者会
十日町記者クラブ
三条市記者室
その他業界紙

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局 信濃川河川事務所

広報担当 専門官 清水 克之

電話 0258-32-3020(内線 406)

FAX 0258-33-8168